

愛知 和男

NPO法人日本エコツーリズム協会会長

### エコツーリズムを普及発展させるために

- 1) ツーリズムは参加者があって初めて成り立つものであることを改めて肝に命ずる必要があると思います。ともするとエコツーリズムに思い入れの強い人、或るいは物事を理屈で考え勝ちな官僚諸君はこのことを忘れがちになります。
- 2) もともと旅行好きな人をエコツーリズムの方へ方向転換してもらうにはどうしたらいいか。エコツーリズムに参加することによって従来にない満足感を感じてもらうには普通の旅行では味わえなかった経験をすることが出来た（新しい知識を得たとか、癒しを感じたとか）ということに加えて、エコツーリズムに参加することを通じて社会の役に立ったという満足感を持ってもらうことなどでしょう。
- 3) 具体的には、エコツーリズムに参加したことによって、その地域の振興や保全に役立ったと感じてもらえること、エコツーリズムに参加したことによって今まで知らなかった知識を仕入れることができたという満足感を味わってもらえること、などでしょうが、そのためには参加費用は普通の場合より高めのほうがいい。ガイドの質は決定的に大切でしょう。その地域に関する歴史や伝統、人々の生き方などに関する知識が豊富なことはもちろんですが、人柄が魅力的でなければならない。ガイドが最大のポイントといっても過言ではないと思います。
- 4) 今まで旅行に特に興味がなかった人をどうやって旅行に行かせるかがもうひとつの課題です。社会に役に立つことをアピールして市民運動に参加してもらうという感覚で多くの人々を巻き込むことを考えることが肝心だと思います。
- 5) これらのことを基本的コンセプトとして全体構想を構築することが必要だと思います。
- 6) まずエコツーリズム憲章は旅行者に重点を置いた書き方が必要ではないでしょうか。例えば「エコツーリズムに参加して社会に貢献しよう」「エコツーリズムに参加して眼から鱗が落ちるような新しい発見をしよう」「エコツーリズムに参加して心を癒そう」「エコツーリズムに参加して新しい親友を作ろう」
- 7) エコツーリズム大賞は参加した人々による投票できめるべきです。した

がって例えば5年後に第一回の大賞を授与することを今宣言して、それまでの間、エコツーリズムサイトでは競って旅行者を獲得し、旅行者に、複数参加したなかから最もよかったところを選んでもらい、その中で最も多かったところに大賞を授与するという仕組みにすることです。